令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立　鹿島中学校　】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○全体的に全国の平均正答率と比べて高い。読解力に優れている。 ○文法の知識をよく習得している。	・意味調べを行うなど、授業で、言葉の意味について習得する学習を多くとり入れる。 ・授業で、「書く」場面を増やし、「書く」ことに慣れるようにする。
	課題	●言葉の意味についての知識の習得が課題である。 ●記述式問題の正答率が低い。	
数学	成果	○データの活用が県・全国と比べて正答率が高かった。 ○関数が県と比べて正答率が高かったが、全国と比べるとやや低かった。 ○昨年度の改善すべき課題である”無回答率”が改善した。	・得意とする者、そうでない者の2つに分かれているため、全体の正答率を上げるために基本の振り返りを定期的に設けるよう努める。
	課題	●数と式が県・全国と比べて正答率が低かった。 ●図形が県・全国と比べて正答率がやや低かった。	
英語(成果または課題で話すことについて触れること)	成果	○3技能については、県・全国と比べて全般的に正答率が高かった。	・英語が苦手な生徒も、相手が何を言おうとしているかを聞き取り、それに応答しようとする意欲を培うために、ALTやペアワークを活用する時間をできるだけ増やすように努める。
	課題	●話すことについては、無回答率が全国平均を上回るものがいくつかあった。	

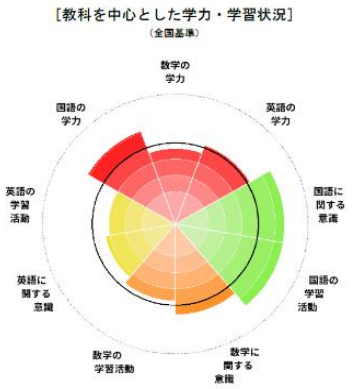
(2)質問紙調査から見られた傾向

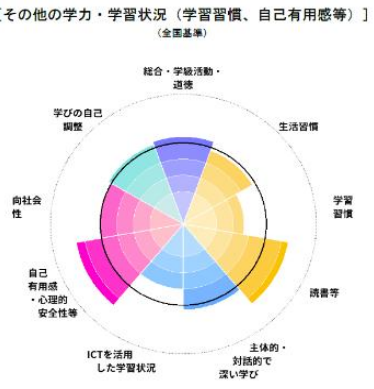
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○自分自身の良さを知っている。　○話し合う活動を多く設けている。 ○総合の学習で自分で課題を立てたり、情報を集め整理し調べたことを発表したりする時間を設けている。	・SNSを娯楽の一つとしている生徒が多いが、それによる健康被害も多くある。そこで、「自律的な生活習慣の確立を目指すセルフマネジメント能力の育成」～メディアコントロールウィークの取り組みと家庭への啓発活動を通して～と題し、メディアとの関わり方を考えさせている。
	課題	●SNSや動画視聴時間が1時間以内がおらず、半数が4時間以上であった。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・引き続き話し合う活動や対話的な活動の機会を設け、主体的に学び自己決定できる生徒を育成し続けたい。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

24 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

